

宮崎国際大学 教育学部 ニュースレター

教育・保育実習において学生に期待すること

教育学部長 福田 亘博



教育学部では、最高学年の3年生はいよいよ本格的な教育・保育実習にでかけます。本学部における実習計画を簡単に紹介しますが、まず学生諸君にとって初めて経験する体験実習であることから、実習に対する不安を払拭するために、教育学部のベテラン教員、宮崎県教育委員会指導主事や宮崎学園短期大学教授陣などによる具体的・丁寧な事前指導を行います。

事前指導後、学生諸君は小幼コースでは小学校・幼稚園の教育現場に、また幼保コースでは幼稚園・保育所の実習現場にでかけます。介護等体験（社会福祉施設）を含め、幼稚園・小学校・保育所における実習は合計すると実に40日間を超えます。また、これらの実習終了後、事後指導を行い現場における実習体験について省察を行います。

さて、実習の目的は①学校や保育所を含む児童福祉施設の役割や機能について理解すること、②大学で履修した教養・専門の知識、各教科教育法や教育支援の方法や技術などを実際の現場で実習・実践すること、③乳幼児・児童の理解、乳幼児・児童との関係づくりや乳幼児・児童への働きかけ等に関する実践力を育成することなどとなっています。従って、学生諸君はこれらの実習目的を達成しつつ、教育者・保育者としての使命や心構え、現場における種々の業務・役割もしっかりと体験して欲しいと思います。また、現場における実習体験を省察しつつ、今まで大学で学んできた概念的知識（理論）をより深化させて欲しいと思います。学生諸君には今回の実習が上記の①～③の目的に照らして、有意義なものとなることを期待しています。



特別対策合宿A・Bでは、対策講座の他、レクリエーションとして、屋外活動であるフォトアドベンチャーを実施しました。

目次

教育・保育実習において学生に期待すること	1
公立学校教員採用選考二次試験に10名合格	1
特別対策合宿A・Bを実施しました	2
教育学部教員から	3
特別対策合宿A・Bの成果	3
クラブ紹介 アートクラブ	3
スクールトライアルを終えて	4
「理数科ゼミ」を開催しています	4
入試情報	4

ハイライト

教育学部ではオプション教育プログラム（無料）を実施しており、教員採用試験合格支援プログラムはその一つです。今年度も特別対策合宿を行い、参加学生は勉学への意欲を一層高めています。

平成29年度公立学校教員採用選考二次試験に10名合格

学生教職支援センター長 中原 邦博

平成29年度公立学校教員採用選考試験の二次試験結果が発表されました。本学からは、宮崎県中学校英語に5名、宮崎県小学校英語に1名、宮崎県小学校に2名、東京都高等学校英語に1名、長崎県中学校英語に1名合計10名の合格者がいました。

東京都高等学校英語の合格者は本学国際教養学部の4年生です。今回10名の合格者があったこと、本学の卒業生や現役学生が、毎年のように輝かしい成果を上げていることを、大学を挙げて祝福したいと思います。

宮崎県中学校〔英語〕⇒宮崎国際大学卒業生5名合格

宮崎県小学校〔英語〕⇒宮崎国際大学卒業生1名合格※

宮崎県小学校⇒宮崎国際大学卒業生2名合格※

東京都高等学校〔英語〕⇒宮崎国際大学4年生1名現役合格

長崎県中学校〔英語〕⇒宮崎国際大学卒業生1名合格

国際教養学部（教職課程）実績

※国際教養学部（教職課程）では、小学校教諭2種免許状が取得できます

特別対策合宿A・Bを実施しました

期間：平成28年9月27日（火）～9月29日（木） 場所：宮崎県青島青少年自然の家

特別対策合宿2年目の成果

学生教職支援センター長 中原 邦博

平成28年度は2年生対象の特別対策合宿Aと3年生対象の特別合対策宿Bを合同で行いました。様々なプログラムを用意しましたが、中でも新規採用教員の講話は、受講した2年生・3年生に大きな刺激を与えていました。その他、採用試験対策講座、個人面接練習、模擬授業、場面指導、模擬試験等を受けて多くの学生が大変満足していました。一方で知識不足、思考力・表現力不足を感じ、今後の学修に意欲を持った学生もありました。これを機会に一層の学生教職支援センターの活用と学年別に実施している教員採用試験対策講座の受講及び真剣な取り組みを期待しています。

今年度は幼保コース対象のプログラムも充実した

ものになりました。自然環境に関わる演習、個人面接練習、模擬保育、模擬試験を実施し、学生たちは積極的に取り組んでいました。

多数の教職員と学外からの講師の協力を得て特別合宿を運営しています。今後も改善すべき点は改め、一層充実した合宿となるように努めていきます。特別合宿において、学生同士が切磋琢磨する姿を宮崎国際大学教育学部のよき伝統としていきたいです。



合宿中の食事風景



集団討論練習



幼保コース演習で制作した「植物図鑑」及び「海岸で採集したものを使った作品」

特別対策合宿主なプログラム

小幼コース3年	小幼コース2年	幼保コース3年	幼保コース2年
教員採用試験対策	教職教養	音楽表現	
個人面接練習	図画工作	保育内容人間関係・言葉	
模擬授業 国語・算数	個人面接練習	個人面接練習	
模擬授業 社会・理科	映画鑑賞	模擬保育	映画鑑賞
場面指導練習	算数	保育内容環境・造形表現	
集団討論練習	教員採用試験対策		
フォトアドベンチャー			
新規採用教員講話(小学校教諭)		新規採用教員講話(幼稚園)	
小論文(講義)			
模擬試験(教職教養・専門教科)		模擬試験(専門分野)	
水泳			

教育学部教員から

学生の夢をかなえるサポートと地域の知の拠点を目指して

准教授 相戸 晴子

私の専門は教育学（社会教育・生涯学習論）です。学習論をベースに子どもの福祉問題や子育てをしている親支援の研究を行ってきたことから、本学では保育者養成に必要な福祉分野の科目も多く担当しています。

また、地域・行政・企業との連携事業等を推進する地域連携センターも担当しています。今年度は、協定を結んでいる市町村の小学生を対象にした英語で各国のブースを回る「英語村事業」の開催、行政や民間が主催する子ども・子育て支援イベントへの参加・参画、地域自治会との共催による中学生への学習支援事業などに取り組んでいます。

最後に、宮崎での生活が3年目となる私は、宮崎の自然・歴史・文化の豊かさと人の優しさに魅了されています。この宮崎の地で、学生の保育者・教育者になる夢をかなえるサポートと地域の知の拠点づくりの一役を担えるよう、頑張っていきたいと思えます。



(担当科目:教育相談、社会福祉、児童家庭福祉など)

特別対策合宿A・Bの成果

合宿を通してレベルアップ

教育学部3年 黒木 香杏
(宮崎南高等学校出身)



今回の特別対策合宿では、保育者を志すにあたっての自己の課題を見つけることができました。昨年度までとは違い、コース別にプログラムがありました。私は幼保コース対象の様々なプログラムを受けましたが、その中で一番印象に残っているのが「模擬保育」です。事前に作った保育指導計画に基づいて実践し、実際にやってみることで気付くことがたくさんありました。

先生方による評価では、専門的な観点からもご指摘をいただき、多くの課題を見つけることができました。例えば、製作中の援助の仕方や進め方に注意をすること、手遊びや歌のレパートリーを増やすこと、保育所保育指針や幼稚園教育要領に書かれた内容を知識として定着させること、話し方や声の大きさに気をつけること、草花の名前を覚えることなどです。とても緊張しましたが、褒めていただいたところは自信が付き、今後も様々な場面で活かしていきたいと思いました。見つけた課題については、これから1つずつクリアしていきたいです。

今回の特別対策合宿は、自身をレベルアップさせる、よいきっかけとなりました。



模擬授業「自然物を使った工作」の様子

初めての特別対策合宿を終えて

教育学部2年 渡邊 由衣
(宮崎西高等学校出身)



2泊3日の特別対策合宿では、1日1日過ぎていくごとに約2年後には教員採用試験が待っていると実感することができました。

この合宿の目的に「自己の課題や今後の対策について自覚を深める」というものがありました。私が、その自己の課題を見つけたのは個人面接と模擬試験のときでした。個人面接のときは、「最近読んだ本の中で印象に残っている本は何ですか」という質問に対して、普段からあまり読書をしていないため、本の題名を答えることができませんでした。模擬試験のときには、今まで時間を計って過去問を解いたことがなく、専門教養で時間が足りなくなり、すべての問題を解くことができませんでした。2つの課題をこの合宿で得ることができ、合宿後には本屋に行き、読書用の本を買い、模擬試験のやり直しも行いました。模擬試験のやり直しをしていると、時間があれば解けるような問題がいくつかあり、知識だけでなくスピードも重要だということが分かりました。

この合宿でのひとつひとつの経験が、自分に影響を与え、「あと2年も時間がある」ではなく、「あと2年しか時間がない」というように考えが変わりました。これからの大学生活にもつながるとも充実した3日間でした。

クラブ紹介

アートクラブ

部長 教育学部2年 清田 瑞穂 (広島県 瀬戸内高等学校出身)

アートクラブは今年の4月に創立し、部員と顧問あわせて計9名で活動しています。活動を始めたきっかけは、私が大学で何か活動したいと思い、守川美輪先生の研究室を訪ねたことです。

守川先生と話したり、大学の講義等で教育について学んだりするうちに、作品作りに対する価値観が変わってきました。高校時代は、しっかりと形を作って描かなくてはならないと思っていました。しかし、楽しんで描いて満足することも大切だと気づきました。そこで、アートクラブでは、楽しみながら自分らしい作品を作るということを目指し、活動しています。

おもな活動は、絵画、絵本製作、工作などで、各自作りたいものを製作しています。また、1年間に12回、宮崎市きよたけ児童文化センターで工作教室を行っています。子育て支援イベントにも積極的に参画し、子どもと触れ合う機会が増えました。その経験が次の作品の参考になっています。

部員募集中ですので、興味のある方は見に来てください。愉快的仲間達と待っています。



スクールトライアルを終えて



教育学部 1年 馬場 彩果 (鹿児島南高等学校出身)

私は、夏休みに小学校で学校体験をさせてもらいました。初日はとても緊張し、学校に着くまでは不安でしたが、優しい先生方と元気な子ども達のおかげで楽しい経験となりました。

わずか3日間でしたが、先生方の日々の忙しさに驚きました。子ども達に教えるための準備やテストの採点、課題の確認、日常生活面での指導など想像もしていなかった事が多くありました。先生方は必要に応じて、上司や同僚教員と話し合い、協力し、どのように指導していけばよいかなどを決めておられるようでした。

私は子どもが好きですが、それだけでは務まらない責任のある仕事だということを実感しました。それと同時に教員になりたいという気持ちも更に大きくなりました。子どもに教えるという事は、教える側も常に学びの精神を持たなければいけないと感じました。これからは小学校で体験したことを思い出しながら、更に知識を身に付け、強い志を持って学んでいきたいです。

スクールトライアルとは、教職を希望する学生(県内大学の1、2年生及び短期大学の1年生)を対象に、県内の小中学校及び県立学校で3日間程度学校体験をする、宮崎県教育委員会の主催事業です。学生は受け入れ校の先生方と行動を共にし、日常の職務内容を体験することになります。

「理数科ゼミ」を開催しています

准教授 渡邊 耕二 (担当科目：数学と生活・算数・算数科教育法など)
助教 坂倉 真衣 (担当科目：環境と科学・理科・理科教育法など)

2016年5月から理数科力アップを目指して「理数科ゼミ」を開いています。夏季休業中には、教育実習・教員採用試験を控える3年生を対象に、「算数・理科の指導内容を理解し授業に繋げる」ことを目的とし、教員採用試験の二次試験を想定した模擬授業を行いました。例えば、実験を行う理科の授業を考えると、この実験から身に付けるべき科学的な知識は何か、この実験を行う上で方法論的なポイントは何か、といったことを学習指導要領や教科書などを基に正確に把握する必要があります。このようなことを一つ一つ確認しながら、理数科力アップを目指し、ゼミを進めていきました。

今回のゼミに参加した学生たちは、理科・算数の知識を深化させることの重要性、理科・算数の指導内容そのものの奥深さ、そして授業を行うことの楽しさを少なからず実感したようです。後期においてもゼミを継続し、学生の理数科力アップをサポートしていきます。



入試情報 [国際教養学部・教育学部共通]

選考区分	出願期間	試験日
◆A O入試 (第5回)	平成28年 12月1日(木)~12月9日(金)	12月17日(土)
◆推薦入試(Ⅱ期) ◆一般入試(前期) ◆大学入試センター試験利用入試(前期) ◆A O入試(第6回) ◆特別入試(帰国生徒・社会人) ◆編入/転入	平成29年 1月17日(火)~2月3日(金)	2月11日(土) 〔大学入試センター試験利用入試を除く〕
◆一般入試(後期) ◆大学入試センター試験利用入試 ◆A O入試(第7回) ◆特別入試(帰国生徒・社会人) ◆編入/転入	平成29年 3月9日(木)~3月21日(火)	3月23日(木) 〔大学入試センター試験利用入試を除く〕

入学試験についての詳細は、大学案内パンフレット、学生募集要項及び本学ホームページをご覧ください。

入試情報ページ→



大学案内を見る→



宮崎国際大学

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931 FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp>



大学教育再生加速プログラム